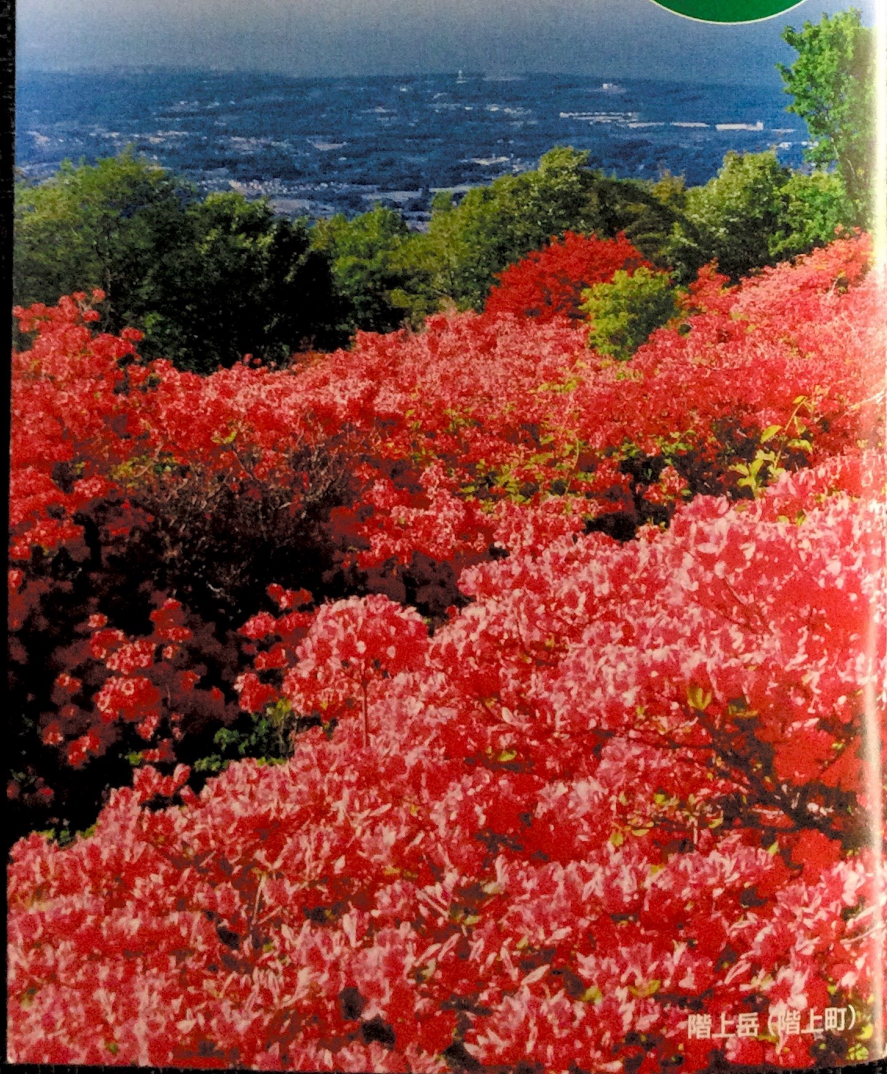


あおもり

町村

ガイド

Aomori Choson Guide



階上岳（階上町）

あおもり

Aomori Chuson Area Map

町村

エリアマップ



INDEX

東津軽郡		西津軽郡		南津軽郡	
平内町	03	鯉ヶ沢町	07	藤崎町	10
今別町	04	深浦町	08	大鰐町	11
外ヶ浜町	05			田舎館村	12
蓬田村	06				
		中津軽郡		北津軽郡	
		西目屋村	09	板柳町	13
				鶴田町	14
				中泊町	15

下北郡		上北郡		三戸郡	
大間町	23	野辺地町	16	三戸町	27
東通村	24	七戸町	17	五戸町	28
風間浦村	25	六戸町	18	田子町	29
佐井村	26	横浜町	19	南部町	30
		東北町	20	階上町	31
		おいらせ町	21	新郷村	32
		六ヶ所村	22		

※掲載の情報は2019年12月現在の情報です。詳細は各施設にお問い合わせください。



今別町

Imabetsu Machi

東津軽郡

「いまべつまち」

「荒馬」が人々を虜にする町
津軽半島の北端に位置する町で、町の伝統芸能である「荒馬」が盛んです。毎年8月に開催される「荒馬まつり」では、「荒馬」を踊るために全国各地の大学生など200人以上が今別町を訪れ盛大に賑わいます。また、北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業した事により、津軽半島周遊の玄関口として観光客を受け入れています。

このまちの

うまいもん!

Food



いまべつ牛ステーキ

いまべつ牛の上質な肉を賞沢に使ったステーキ。口の中で広がる肉汁、やみつきになる味。まさに一品盛です。道の駅いまべつのレストランでお召し上がりいただけます。

お問い合わせ/0174-31-5200 道の駅いまべつ半島ぶらざアスクル



ぶらり立ち寄りスポット

Topics

青函トンネル入口広場

青函トンネル本州入口にある公園。間近で新幹線が通過する様は迫力満点で絶好のスポットです。展望台も整備されているため、新幹線の写真撮影も存分に楽しめます。

■開/0174-35-3005(直通)
(今別町夜場・産業観光課)



〒030-1502 東津軽郡今別町大字今別字今別167
TEL.0174-35-2001 FAX.0174-35-2298
E-mail info@town.imabetsu.jp http://www.town.imabetsu.lg.jp



平内町

Hiranai Machi

東津軽郡

「ひらないまち」

人と自然が調和した躍動感あふれる元気な町
青森県のほぼ中央に位置する町で、「小湊のハクチヨウおよびその渡来地」として国の特別天然記念物に指定される夏泊半島や、四季を通じて楽しめる夜越山森林公園など風光明媚な自然を体感できます。また、「ホタテ王国」として知られる平内のホタテは、肉厚で濃厚な旨みと甘みが絶品です。

このまちの

うまいもん!

Food



平内ホタテ活御膳

活ホタテの刺身、活ホタテのステーキ、ベビーホタテの寿司、ベビーホタテのすまし汁、ホタテアイスが味わえる、育成ホタテ水揚げ日本一ならではの新・ご当地グルメ。



平内ホタテ

平内のホタテは、緑豊かな山々から新鮮な雪溶け水が流れ込むミネラル分豊富なむつ湾の厳しい寒さの中で育ち、その分、身は肉厚で引き締まり、驚くほどの甘みと旨味が凝縮され、絶品と評判です。



森と川と海「ほたて広場」

むつ湾産魚貝類などの販売の他、ホタテ直送販売も承っています。ホタテ漁業をはじめ平内町の歴史を学べる他、様々なイベントも開催されます。

■大字土屋字健懸56
■休/毎週水曜日、12月31日~1月2日

〒039-3393 東津軽郡平内町大字小湊字小湊63
TEL.017-755-2111 FAX.017-755-2145

E-mail somu@town.hiranai.aomori.jp http://www.town.hiranai.aomori.jp/

ぶらり立ち寄りスポット

Topics

夜越山森林公園

「サボテン・洋ラン園」サボテン温室には3,000余種のサボテンや多肉植物が群れをなし、洋ラン温室には約150種の洋ランが咲き誇り、一年中、南国気分が味わえます。

■夜越山森林公園内
■休園/8月13日、12月31日午後



行ってみようか、津軽半島最北端「龍飛岬」まで

津軽半島最北端「龍飛岬」を有する町。眼下には世界最長の海底トンネル「青函トンネル」が走る激流・津軽海峡が望め、北海道までが一望できる風の岬。太宰治、大町桂月、棟方志功など数多くの著名人が訪れ、愛したこの岬には、人々を引きつける魅力があふれ、大自然の厳しさや優しさを体感できるパワースポットでもあります。

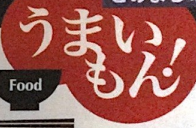
東津軽郡 「そとがはまち」

外ヶ浜町

Sotogahama Machi



このまちの



しろうお

外ヶ浜町の春の風物詩といえは、蟹田川のシロウオ漁。蟹田川周辺には、獲れたてのシロウオを食べられる施設もあり、春限定の名物が味わえます。



外ヶ浜のホタテ

外ヶ浜町の養殖ホタテは、平館海峡の潮流の影響を強く受けるため、身が良くしまり、甘みも強いのが特徴です。生食が一番お勧めですが、ホタテをよりおいしく加工した佃煮なども美味だと評判です。

ぶらり立ち寄りスポット

風のまち交流プラザ
トップマスト

むつ湾沿岸唯一のビューポイントである海の駅。地上30mの展望台からの眺めは絶景。津軽・下北両半島を結ぶカーフェリーの搭乗手続きもこちらで。



蟹田駅前市場 ウェル蟹
蟹田駅を出ると、すぐ右手にあるロケハウス風のお洒落な市場。外ヶ浜町の野菜や花、むつ湾の獲れたて鮮魚などを販売し、食事もできます。

〒030-1393 東津軽郡外ヶ浜町字蟹田高網屋44-2
TEL 0174-31-1226(産業観光課) FAX 0174-31-1229
E-mail: kankou@town.sotogahama.lg.jp http://www.town.sotogahama.lg.jp

蓬田村

Yomogita Mura

東津軽郡 「よもぎたむら」

北緯41度、訪れるほど好きになる癒しの村。
青森県の北西部・北緯41度に位置する村。平地部には村人が長い年月をかけてつくりあげた美田が広がり、上磯地域の米蔵と呼ばれています。村には、津軽半島の脊梁をなす「中山山脈が通っており、蓬田三山」と呼ばれる大倉・赤倉・袴腰と3つの岳には、ヒバやフナ林の中を歩く本格的な登山道が整備されています。

このまちの



桃太郎トマトと加工品

蓬田村の桃太郎トマトは甘みが強く、冷やして食べるとシャキッとした歯触りが特徴です。このトマトを使用した加工品は大好評で、新商品の「トマッタレ」は焼き肉のタレや唐揚げの下味など、様々な料理に活用できる万能タレです。



産卵
青森県産米で育てた鶏が生んだ「米卵」と飼料を配合し、採卵期間を限定した鶏から生まれた「ゆとりたまご」。卵本来のコクが味わえます。
電話/0174-27-3131 (坂本養鶏株式会社)



ぶらり立ち寄りスポット



よもぎた物産館「マルシェよもぎた」
玉松海水浴場前にある物産館。海を眺めながらの食事やカフェが楽しめ、地元農家が出品する新鮮な特産品がずらり。海水浴客の休憩場所としても最適。
■営/午前9時～午後5時
■休/12月～2月の毎週火曜日
■開/0174-31-3040



村の駅「よもっと」
国道280号線添いにある産直物産館。水揚げされたばかりの魚介類や津軽半島の新鮮な農産物や加工品なども揃う、観光の中継地点でもあります。
■営/午前8時～午後6時
■開/0174-31-3115



〒030-1211 東津軽郡蓬田村大字蓬田字汐越1-3
TEL 0174-27-2111 FAX 0174-27-3255
E-mail: yomogitamura@vill.yomogita.lg.jp http://www.vill.yomogita.lg.jp

世界自然遺産「白神山」と同様のブナ林を気軽に体感

1993年に世界最大級の原生的なブナ林の中核区域が世界自然遺産に登録された白神山の約27%を有する町。山海・川の大自然に抱かれた場所、町の中心部から車で30分ほど行った「白神の森遊山道」には、登録地域とほぼ同様のブナ林が広がり、季節ごとに咲く様々な山野草や樹齢200年を越えるブナ林を気軽に散策することができます。

西津軽郡

「あじがさわまち」

鱒ヶ沢町

Trigasawa Machi



このまちの

うまいもん!

Food



赤石川の「金アユ」

白神山を源流とする赤石川の清流が育んだ金色に輝く「金アユ」。「全国清流めぐり利き鮎会」で3度も準グランプリに選出され、味も絶品です。

鱒ヶ沢ヒラメのツケ丼

鱒ヶ沢産の極上ヒラメを贅沢に漬けにし、たっぷりのご飯にのせた町の名物丼。それぞれのお店が工夫を凝らした独自の漬け方で、美味しい丼を提供しています。(味付け、価格、提供方法など店舗によって異なります)

ぶらり立ち寄りスポット



鱒ヶ沢町観光案内所

案内所では、観光案内や飲食店の紹介、レンタサイクル等を行っています。鱒ヶ沢町に降り立ったら、まずはこちらへ。

■鱒ヶ沢町大字御前町下置田36-2 (JR鱒ヶ沢駅南内)
■鉄/火・水曜日(4~10月無休) ※祝日の場合は営業 1月1日~3日 ■問/0173-72-7000



道の駅わんど

とれたての海の幸や山の幸、お弁当やお惣菜、土産品などを取り揃え、ブサかわ犬「わさお」グッズも販売。2階の「鱒ヶ沢相撲館(舞の海ふるさと棧敷)」も人気です。

■鱒ヶ沢町大字本町246-4
■営/4~11月/9:00~18:00、12~3月/9:00~17:00
■休/1月1日~3日 ■問/0173-72-6661

〒038-2792 西津軽郡鱒ヶ沢町大字本町209-2
TEL0173-72-2111 FAX0173-72-2374
E-mail ajkoho@town.ajigasawa.lg.jp



深浦町

Fukaura Machi



西津軽郡

「ふかうらまち」

世界自然遺産「白神山」と「マグロ」の町
西は日本海に、南は秋田県に接し、古くは、北前船の風待ち湊として栄え、大阪や京都などからの文化導入の表玄関として発展してきた町。奇岩・怪岩や日本海に沈む夕陽を見ることができる風光明媚な海岸線、世界自然遺産に登録される白神山、津軽国定公園「十二湖」など美しい自然景観が豊富で、多くの観光客が訪れています。

このまちの

うまいもん!

Food



ふかうら雪人参

世界自然遺産「白神山」の麓に広がる人参畑で、12月後半から3月までの真冬に収穫する「ふかうら雪人参」は、野菜とは思えないフルーティーな甘さが特徴です。

深浦マグロステーキ丼

深浦産の本マグロを刺身、片面焼き、両面焼きにして3種の味が楽しめる新しいご当地グルメ! それぞれの味を引き立てる3種のタレと3つのご飯、マグロ以外の食材もとこん深浦にこだわったおすすめのお品です。

■問/0173-74-2111 (深浦マグロ料理推進協議会事務局)
www.fukauramaguro.com/

Topics

ぶらり立ち寄りスポット



海の駅ふかうら「深浦まるごと市場」

地元で水揚げされた新鮮な海の幸や、産直団体のお母さんたちが愛情いっぱい育てた生鮮野菜など深浦の旬を販売しています。

■深浦町大字深浦字浜町352-1 ■休/年末年始
■問/0173-82-0315



風車の丘「白神展望台」

世界自然遺産白神山や日本海を一望できる高さ272mの展望台。展望台まではウェスパ椿山内の「物産館コロポックル」から専用スロープカーが発着している。360度の大パノラマをぜひお楽しみ下さい。

■深浦町大字船作字磯石226-1
■問/0173-75-2261
■大人500円、小中学生300円、小学生未満無料

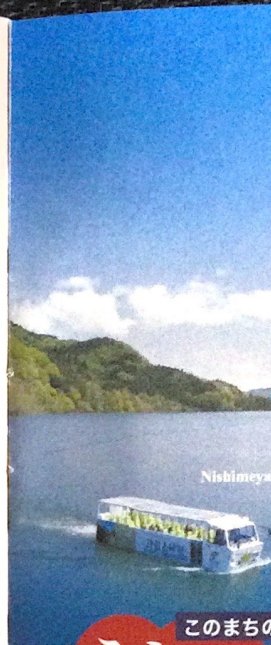
〒038-2324 西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢84-2
TEL0173-74-2111 FAX0173-74-4415
E-mail fukaura001@town.fukaura.lg.jp http://www.town.fukaura.lg.jp/



弘前市から車で約30分の位置にあり、世界最大級の原生的なブナ林を抱く世界自然遺産・白神山地がある村。世界自然遺産地域内を唯一気軽に歩くことができるコースや水陸両用バス「津軽白神号」でダム湖を遊覧できるのはここだけです。ぜひ、西目屋村で四季折々の自然を存分に満喫してみませんか。

中津軽郡 「にしめやむら」

西目屋村



このまちの



白神焙煎炭焼珈琲
リンゴの木の炭を燃料として、白神山地の麓の清らかな水で淹れたコーヒーは香り・味ともに絶品です。また、淹れ方体験コースもあるので自分好みのコーヒーが味わえます。

白神のそば
森の天然ダムともいわれるブナ林。昔から「名水あるところに銘蕎麦あり」といわれるように、その豊かな保水、恵まれた白神山地の風土が「育んだ「白神のそば」が名物。滋味溢れる芳醇の味覚をぜひご賞味ください。

ぶらり立ち寄りスポット



白神山地ビジターセンター
臨場感あふれる大型映像で白神の自然を体験できる映像体験ホールをはじめ、世界遺産「白神山地」の魅力を紹介しながら、学習できる施設です。

■西目屋村大字田代字神田61-1
■問/0172-85-2810



道の駅「津軽白神」
西目屋の新たな味わいが味わえる、白神コーヒースタジオや白神ワイナリーなど西目屋の「うまいもの」や観光情報などすべてが揃っている施設です。

■西目屋村大字田代字神田219-1
■問/0172-85-2855

〒036-1492 中津軽郡西目屋村大字田代字稲元144
TEL0172-85-2111 FAX0172-85-3040
E-mail nishimeya-soumu@vill.nishimeya.lg.jp <https://www.nishimeya.jp/>



津軽平野の中心にあるりんご「ふじ」発祥の地
東に八甲田連峰、西に岩木山、南に出羽丘陵、北は梵珠山に囲まれ、津軽平野のほぼ中央に位置する町。世界一の生産量を誇るりんご「ふじ」の生まれ故郷としても有名で、りんご以外にも、米・にんにくなど安全で安心な農産物が町の自慢です。水と緑に囲まれた豊かな自然がもたらす四季折々の風景が、訪れる人をもてなします。

南津軽郡 「ふじざきまち」

藤崎町



このまちの



にんにく
藤崎町のにんにくは、雪のように白く、粒が大きいのが特徴です。安全な堆肥と生産者の手間ひまにより、栄養豊富で品質が高いと評価されています。

りんご「ふじ」
かつて藤崎町に設置されていた園芸試験場で誕生したのが「ふじ」。交配から品種登録まで23年という歳月を要しましたが、甘みがあり、食味に優れ、保存性も高いため、瞬く間に主力品種へと成長。今や世界で最も生産されているりんごとなりました。

ぶらり立ち寄りスポット



常盤ふるさと資料館「あすか」
後世に大きな功績を残した版画家高木志朗氏、「農業の父」といわれた浅利宗氏、版画家円平仁氏の作品や蔵書、遺品が多数収蔵されています。

■藤崎町大字水木字村元15-1
■休/毎週月曜・祝日・年末年始・企画展開催前日
■問/0172-65-4567



ふじさき食彩テラス
農産物直売所では、特産のにんにくやアスパラガスなどの新鮮野菜やオリジナル農産加工品を販売しています。カフェレストランでは、旬の食材を使ったピュッフェランチや、地元で人気の菓子店のスイーツを味わえます。

■藤崎町大字榊字和田65-8
■休/年末年始(カフェレストランは毎週水曜)
■問/0172-65-3660



〒038-3803 南津軽郡藤崎町大字西豊田1-1
TEL0172-75-3111 FAX0172-75-2515
<http://www.town.fujisaki.lg.jp/>

平川の清流の傍らに温泉街が居並ぶ、津軽の奥座敷

津軽地方の南端に位置し、津軽の奥座敷として四季折々の美しさを満喫させてくれる湯の里。平川沿いには、温かな風情のたたずまいが連なり、湯宿を中心に「大鰐の湯ッコ」として古くから親しまれていいます。歴史は800年、建久年間(1190~1198)に東国を行脚していた円智上人が大鰐温泉を発見したと伝えられています。

南津軽郡

「おおわにまち」

大鰐町

Owani Machi



このまちの

うまいもん!

Food



大鰐高原りんご

主力品種は「ふじ」。県産りんごの中でも市場では評価が高く、高原地栽培により果肉が緻密で果汁が多く、味・香り・色など高品質だと評判です。

大鰐温泉もやし

温泉熱を利用して育てられ、歯触りよく、味の良さと品質の高さは全国でも評判です。「大鰐温泉もやし」の始まりはとて古く、津軽三代藩主・信義が大鰐で湯治する際に必ず献上したと言われていいます。

Topics

ぶらり立ち寄りスポット



大円寺

津軽では「大鰐の大日様」として厚い信仰を集める名所。安置される「国指定重要文化財」の本尊は、穏やかさと意思の強さを合わせもつ重厚な仏像です。
 ■問/0172-48-2111(代)
 (大鰐町役場企画観光課)



大鰐町地域交流センター「鰐(わに)come(かむ)」

開湯800年以上の名湯を気軽に楽しめる日帰り温泉施設。露天風呂、サウナ、家族風呂の他、整体・マッサージ、お食事処、直売・売店など各種施設も充実。
 ■大鰐町大字大鰐字川辺11-11
 ■問/0172-49-1126
<http://www.wanicom.com/>

〒038-0202 南津軽郡大鰐町大字大鰐字羽黒館5-3
 TEL0172-48-2111 FAX0172-47-6742
 E-mail system@town.owani.lg.jp <http://www.town.owani.lg.jp>



1000人以上の手植えで描く「田んぼアート」発祥の村

津軽平野の南側に位置し、弥生時代中期の水田跡によって、稲作の歴史で貴重な発見となった垂柳遺跡(国史跡)をはじめ、反収日本一を何度も記録している米どころ。色の異なる品種の稲で描く田んぼアートや、弥生時代の人の足跡が残った水田跡(田舎館村埋蔵文化財センター)から、青森の稲作文化に思いを馳(は)せてみませんか。

南津軽郡

「いなかたむら」

田舎館村

Inakadate Mura

このまちの

うまいもん!

Food



特別栽培米「あさゆき」

市内の生産団体「稲華会」が手掛け特別栽培米。粘りが強く、上品な味が特徴。布めでもおいしく、硬く嚼けるいびきアミロース米です。



いちご「とちおとめ」

甘さと酸味、香りのバランスが優れている冬・春収穫期の品種。酸味がおいしい収穫期が夏・秋のいちごも生産されています。役場近くの「観光いちご園アグリイー」な田んぼアートの里の温泉熱を利用したハウスでは、通年でいちごの摘み取りや食べ放題、特製スイーツを楽しめます。

Topics

ぶらり立ち寄りスポット



田んぼアート(2月上旬)

雪の新しいなかで「弥生の里」にある、雪の集まった第2田んぼアートへ、人の足跡で書くスノーアート。第一人者の英国人サイモン・ベック氏から技術継承を受けた地域住民グループ・スノーアーティスト集団「OK」の皆さんが制作します。
 ■問/0172-58-2111



道の駅いなかたで「弥生の里」

7.5haの敷地に産地直売センター、レストラン、大型コンビネーション遊具、パターゴルフ場があり、ご家族揃ってお楽しみいただけます。また、敷地内の「弥生の里展望所」からは、約10,000㎡の第2田んぼアートをご覧いただけます。
 ■田舎館村大字高橋字八幡10
 ■問/0172-58-4411



〒038-1113 南津軽郡田舎館村大字田舎館字中辻123-1
 TEL0172-58-2111 FAX0172-58-4751
<http://www.viii.inakadate.lg.jp/>

鶴田町

Tsuruta Machi

北津軽郡

「ふるたまち」

湖面を渡る風にのる、鶴と国際交流の町
津軽平野のほぼ中央に位置する鶴田町は、まるで鶴が羽ばたいているような形をしており、町の中央には岩木川が流れています。岩木山、そして津軽富士見湖の澄んだ湖面が四季折々に美しく輝き時を刻む、愛おしい景観が深く心に響きます。この地に息づく縄文からの歴史と、人々の素朴で温かな人柄が、訪れる人の心を豊かにしてくれま

このまちの
うまいもん!
Food



スチューベン

作付け面積、生産量ともに日本一を誇ります。糖度が高い品種で、旬は10月～2月。また、これを原料にしたスチューベンジュース、スチューベンワインもおススメ。

鶴田町大豆・米

鶴田産米「つがるロマン」を原料にした「米粉パン」は、独自の風味とモチモチした食感で好評を得ています。道の駅隣の加工施設内で製粉から焼き上げまでの製造工程を見学することもできます。

Topics

ぶらり立ち寄りスポット



鶴の里あるじゃ

スチューベン生産量日本一の町として、店内にはスチューベンをはじめ、様々な関連商品が勢揃い。毎日新鮮な鶴田産の農産物も販売しています。

■鶴田町大字境字里見176-1(国道339号沿い)
■営業/9:00~18:00 ■TEL/0173-22-5656
http://www.tsurunosato-aruja.com



〒038-3595 北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬200-1
TEL0173-22-2111 FAX0173-22-6007
E-mail tsu_info@town.tsuruta.aomori.jp http://www.town.tsuruta.aomori.jp

板柳町

Itayanagi Machi

北津軽郡

ここには、まるかじりできるりんごがあります
津軽地区の中央に位置し、西は岩木川、東は十川の間にあがり、りんご園や水田に囲まれた平野が広がる板柳町は、百四十年余にわたり、りんごとともに歩んできた、名実ともに「りんごの里」。安全安心なりんごづくりとともに、「りんごを軸としたまちづくりの取り組みを進めています。

このまちの
うまいもん!
Food



いたや毛豆

津軽地方の在来種である「毛豆」のブランド化を目指し、完全無農薬で栽培される「いたや毛豆」。粒が大きく甘みの強い濃厚な味わいです。

りんごワークりんご加工品

「Ringo Work」は、りんごの花・実・葉・幹などから創り出される全ての製品の総合的なブランド名。ジュースやジャム、ゼリー、お菓子などの加工食品から、りんご樹皮加工品など様々な商品を生み出しています。

■板柳町大字福野田字本泉34-6 ■TEL/0172-72-1500

Topics

ぶらり立ち寄りスポット



中央アップルモール

町の中心部を南北に結ぶ、全長約2.1kmの散歩道。町の歴史や文化、りんごの情報を散策しながら学べる自然のミュージアムです。

■TEL/0172-73-2111(板柳町役場)



板柳町ふるさとセンター

りんご品種見本園や、りんごを使った工芸・お菓子作りを体験できる工房、農産物直売所など、りんごの魅力を感じて「生きているりんごの博物館」です。

■板柳町大字福野田字本泉34-6
■TEL/0172-72-1500



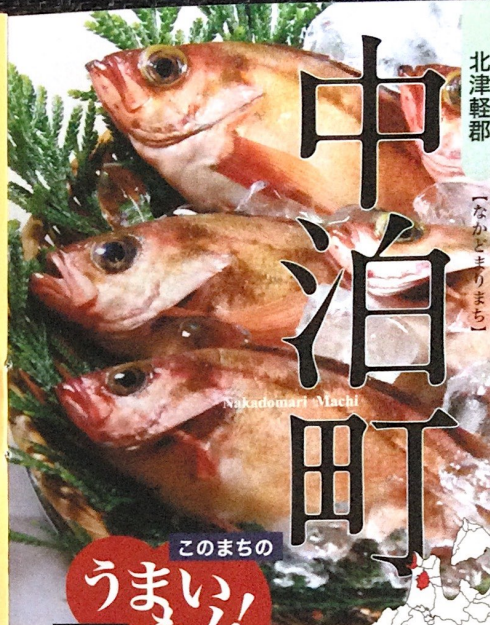
〒035-3692 北津軽郡板柳町大字板柳字上井239-3
TEL0172-73-2111 FAX0172-73-2120
E-mail itayanagi01@town.itayanagi.aomori.jp https://www.town.itayanagi.aomori.jp/

大地の恵と海の幸 津軽海峡メバルのまち

中泊町は、十三湖南岸から内陸に広がる中里地域と日本海沿岸の小泊地域が「飛び地」で合併した町です。地域は二つに分かれていますが飛び地だからこそ、「大地の恵」と「海の幸」、そして変化に富んだ美しい景色に会える町です。四季折々に美しい中泊町を訪れて、見て・きいて・食べて・・・五感でお楽しみください。

北津軽郡

「なかとまりまち」



中泊町

このまちの

うまいもん!

Food



中泊メバルシリーズ

中泊町は高級魚ウスマバルの水揚げ量青森県ナンバーワン。刺身はもちろん、煮ても焼いても美味しい人気の食材。メバルをふんだんに使った「中泊メバルの刺身と煮付け膳」、煮付けを手軽に味わえるレトルト商品「中泊メバルでチン!」、メバルの形をしたおやき「中泊はメバル焼き!」、メバルの粉末を使いお土産に最適な「中泊メバルせんべい」とシリーズ展開。冬期限定の「中泊メバルちゃんご鍋」もぜひご賞味ください。

Topics

ぶらり立ち寄りスポット

金多豆蔵 人形芝居

津軽地方で1世紀に渡って相伝されてきた人形劇。戦争、娯楽嗜好の変化という時代の波を乗り越え、3代目木村巖の手によって今も上演中。

- 金多豆蔵人形劇場
- 定期公演/毎月第1土曜
- 問/0173-58-3573



特産物直売所「ピュア」

ブルーベリーやハトムギの加工品、地元農家が栽培した野菜類など津軽の四季を彩る品々が店頭に並びます。館内には食堂もあり、休憩所としても最適。

- 問/0173-57-5054

〒037-0392 北津軽郡中泊町大字中里字紅葉坂209
TEL0173-67-2111 FAX0173-57-3849

E-mail info@town.nakadomari.lg.jp http://www.town.nakadomari.lg.jp/

野辺地町

上北郡

「のへしまち」

優美な旋律を風が運ぶ、祇園まつりが夏の風物詩
下北半島の基部むつ湾に面し、青森市から約1時間ほどの場所にある町。短い夏を惜しむかのように豪華絢爛な山車が町内を練り歩くのへし祇園まつりをはじめ、江戸時代に南部藩と津軽藩の境界を示す「藩境塚」や日本初の鉄道防雪林「野辺地防雪原林」など、歴史を偲ぶ貴重な行事や史跡が数多く残されています。



このまちの

うまいもん!

Food



優美な旋律を風が運ぶ、祇園まつりが夏の風物詩

ほたて

むつ湾のホタテは、大粒で口当たりがまるやかなのが特徴。全国的にも高い評価を受けています。
電話/0175-64-2264 (野辺地町漁業協同組合)

野辺地葉つきこかぶ・長いも

この地方特有の気候が育んだ、こかぶや長いもの農作物は、素材のキメが細かく甘みがあります。健康野菜としても評価が高く、全国に出荷されています。

- 問/0175-64-3164 (ゆうき青森農業協同組合野辺地支所)

Topics

ぶらり立ち寄りスポット

野辺地町活き活き 常夜燈市場

「常夜燈公園」横にオープンした産直施設。水揚げされたばかりの活ホタテや新鮮な魚介類や町の事業者自慢の商品などが購入できる施設です。

- 野辺地町字野辺地567 ■営/9:00~17:00
- 休/年末年始 ■問/0175-73-7887



常夜燈&みちのく丸

千石船往來の安全を願って建立された日本最古の石の灯台「常夜燈」と日本海沿岸や蝦夷地への航海で活躍した「復元北前型弁才船 みちのく丸」の雄姿。
■問/野辺地町役場 0175-64-2111



〒039-3131 上北郡野辺地町字野辺地123-1
TEL0175-64-2111 FAX0175-64-9594
E-mail noheji02@net.pref.aomori.jp http://www.town.noheji.aomori.jp

歴史や文化を感じられる並木道が点在する町。国道4号線沿いの奥州街道松並木、ハッピーファームのけやき並木など季節の移り変わりとともに街の印象を大きく変えます。駅周辺には、松並木と桜並木が見事な奥羽牧場、諏訪牧場もあり、牧歌的景観と駅前から続くつじロードなど歴史的な美しい景観に恵まれています。

上北郡 「しちのへまち」

七戸町

Shichinohe Machi



このまちの
うまいもん!
Food



NAMIKIの手づくりジェラート
自家牧場で育てたジャージー牛の新鮮で濃厚なミルクと旬の地産産野菜や果物を使った濃厚で後味さわやかなジェラートが楽しめます。
■七戸町立野頭69 ■営業/10:00~17:00
■TEL/0176-62-2646



中村さんちのりんごジュース
ジュースのピンク色は完熟りんごの果肉から搾り出された天然色。りんご作りからこだわった、見た目も美しいりんごジュース。道の駅しちのへなどでお買い求めいただけます。
■TEL/0176-62-2295(中村さんち農園)

Topics
ぶらり立ち寄りスポット



七戸町観光交流センター
駅の南口に隣接しており、1階では、七戸町をはじめ、上北・下北地域を案内しています。また、2階のカフェでは、七戸町の食材を使った料理を提供しています。
■七戸町字荒黒内207
■営業/6:30~20:00
2F KEY'S CAFE 9:00~19:00
■TEL/0176-51-6100

道の駅
しちのへ

七戸町では、町の野菜や山菜など新鮮な農産物や加工品をお手頃価格で販売。土産が揃う土産館もあり、そばコーナーのそばソフトクリームもオススメです。
■七戸町字荒黒内67-94
■営業/9:00~18:00
(7-8月は18:30まで)
■休/1月1日、3月31日、臨時休業日
■TEL/0176-62-5777



〒039-2792 上北郡七戸町字森ノ上131-4
TEL0176-68-2111 FAX0176-68-2804
E-mail home@town.shichinohe.lg.jp http://www.town.shichinohe.lg.jp

六戸の豊かな食は、大地からの贈りもの
県東南部に位置する野菜作りが盛んな農業の町。根菜類を中心に多くの野菜が作られ、その品質の良さは、県内外から高い評価を得ています。県内最初にオープンした十和田国際カントリークラブ、星野リゾート 青森屋をはじめとする町内の温泉など、食べて、触れて、癒されて、町の魅力をご堪能ください。

上北郡 「ろくのへまち」

六戸町

Rokunohe Machi



このまちの
うまいもん!
Food



青森シャモロック ザ・プレミアム#6(ナンバーシックス)
「青森シャモロック ザ・プレミアム#6」は通常飼育の「青森シャモロック」の中から発育の良い雄のみを選抜し、特別飼育をすることで得られる、しっかりとした歯ごたえや濃厚な旨み特徴の地鶏です。
■TEL 0176-55-3111(六戸ブランド研究会)

Topics
ぶらり立ち寄りスポット



緑野公園
町のシンボリック公園。山桜の自然公園として知られ、桜の季節には家族連れで賑わいます。ウォーキングや釣りも楽しい。冬には白鳥も飛来します。
■六戸町大字犬落瀬字楽山3-1



道の駅ろくのへ「メイブルふれあいセンター」
町の特産品展示PRの他、町の農畜産物を使った新たな特産品の開発・研究も行われています。江戸時代後期の古民家も隣接し見応えがあります。
■六戸町大字犬落瀬字後田87
■TEL/0176-55-4134



〒039-2392 上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60
TEL0176-55-3111 FAX0176-55-3112
E-mail info@town.rokunohe.aomori.jp http://citywww.town.rokunohe.aomori.jp



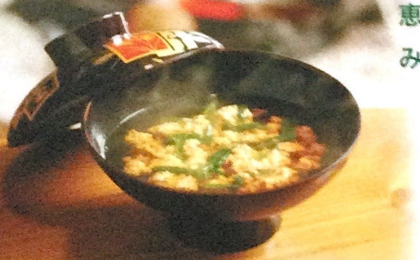
東北町

上北郡

「とうほくまち」

宝湖・小川原湖がもたらす湖の恵み
県内最大の面積を誇る小川原湖を有する東北町。八甲田山系の豊かな自然に囲まれた小川原湖は、昔から「宝沼」とも呼ばれ、日本の漁獲量を誇るシラウオ、ワカサギのほか、シジミ、モクスガニなど獲れる魚介類も実に多様です。また、町内に温泉が数多く点在し、その全てが源泉掛け流しと「じいさ湯のせせ」でもあります。

このまちの
うまいもん!
Food



小川原湖産大和シジミ

小川原湖のシジミは殻の大きさが15mm以上と大きいのが特徴で、夏の土用シジミ、冬の寒シジミは特に味が良いと評判です。平成29年には農林水産省の「地理的表示保護制度(GI)」にも登録されました。

ガニ汁

小川原湖で採れるモクスガニを使用し、濃厚なダシとカニミソの旨味が濃縮させた逸品で、地元では郷土料理として親しまれています。

ぶらり立ち寄りスポット



小川原湖ふれあい村

小川原湖公園の高台にあり、ケビンハウスやオートキャンプ場やバターゴルフ場も整備されており、家族や友達と楽しめるスポットです。
■ケビンハウス・オートキャンプ場は有料(要問合せ)
■TEL/0176-56-3600



道の駅おがわら湖「湖遊館」

新鮮な地場野菜や漬け物などの加工品、小川原湖産の活きのいい魚介類などを販売。レストランでは、地場の素材を活かしたメニューが味わえます。
■東北町大字上野字南谷地122
■TEL/0176-58-1122



〒039-2492 上北郡東北町上北南4-32-484
TEL0176-56-3111 FAX0176-56-3110
<http://www.town.tohoku.lg.jp/>



横浜町

上北郡

「よこほまち」

一面が黄色に色づく菜の花の町へようこそ
県内でも最大の作付面積を誇る菜の花の町。もつ湯や吹越鳥帽子をはじめとする山々に囲まれる中、5月に入ると町全体に一面黄色の風景が広がり、県内外からも多くの観光客が訪れます。また、子どもからお年寄りまで気軽に登山ができる吹越鳥帽子やカレイや鯛が釣れるもつ湯での沖釣りなど、豊かな自然も気軽に満喫できます。

このまちの
うまいもん!
Food



菜の花商品

生地に菜の花ペーストを練り込んで、菜種油で揚げた「菜の花ドーナツ」や菜の花の新芽・菜の花はちみつ・地元牧場の牛乳で作った「菜の花ソフトクリーム」も人気。

横浜なまこ

身のやわらかさが評判の横浜産なまこ。資源保護のため、旬となる年末の数日しか漁を実施しない貴重な食材となっている。毎年12月には多彩ななまこ料理を味わえる「横浜なまこフェア」を開催。

ぶらり立ち寄りスポット



菜の花畑

毎年5月上旬～下旬にかけて、町内に点在する菜の花畑が一斉に咲き誇ります。5月の第3日曜日「菜の花フェスティバル」はよこほまちも行われます。
■横浜町大豆田神社会館
■TEL/0175-78-2111(吹越産業振興課)

道の駅よこほまち「菜の花プラザ」

100種類を超える菜の花を使った商品を取り揃えています。「レストラン鮮菜」では、横浜産ホタテを使ったホタテ塩ラーメンがおススメ。

■横浜町字林の館79-10
■TEL/0175-78-6687
■TEL/0175-78-6687
■TEL/0175-78-6687
※休館日(1月～3月は毎週入館休、火曜日の場合は水曜休)



〒039-4148 上北郡横浜町字寺下35
TEL0175-78-2111 FAX0175-78-2118
E-mail: koho@town.yokohama.lg.jp <http://www.town.yokohama.lg.jp>

奥入瀬川の清流の恵みを五感で楽しんで

奥入瀬川から太平洋へ注ぐ奥入瀬川の下流にある町。おいらせ沖は、太平洋の荒波と奥入瀬川から注ぐ栄養豊富な水の恩恵を受け、ホッケイやサケなどの好漁場で、晩秋には、川を上るサケをつかみ取る「日本一のおいらせ鮭まつり」が行われます。たゆみなく流れ、私達に恵みを与え続ける奥入瀬川。それは、おいらせの宝物です。

上北郡 「おいらせちょう」

おいらせ町



このまちの



熟成おいらせ黒にんにく(親孝行)
 にんにくの発酵・熟成にじっくり時間をかけることで、にんにく特有の臭いを取り除き、甘く、フルーティな味に仕上がっています！
 ■問/有限会社 柏崎青果 <http://www.aomori96229.jp/>



おいらせだるま芋へちよこ汁
 郷土料理の長いもすいとんをアレンジしたご当地グルメ。だるま芋に片栗粉をまぜ、へちよこ(おへそ)の形にしたモチモチ・つるつるの芋もちが最高！
 ■問/さつきグループ代表 柏崎幸子 0178-56-3226

ぶらり立ち寄りスポット



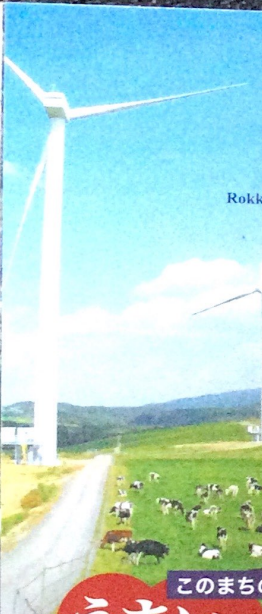
観光農園
アグリの里おいらせ
 新鮮で美味しい地元野菜をふんだんに取り揃えた産直施設。温泉の地熱で育てた南国植物の見学やいちごの摘み取り体験もでき、足湯も人気です。
 ■問/0178-56-2884 <http://agurinosato.jp/>

〒039-2192 上北郡おいらせ町中下田135-2
 TEL0178-56-2111 FAX0178-56-4364
<http://www.town.oirase.aomori.jp/>



六ヶ所村

Rokkasho Mura



上北郡 「ろっかしよむら」

雄大な自然の中、エネルギーの未来を思い描こう！
 下北半島の付け根にある六ヶ所村は、5つの湖沼と太平洋、そして森と大地が織りなす自然豊かな風景が広がる村。風力発電施設をはじめ、最先端のエネルギーに関する施設が立地する全国でも珍しい地域。エネルギーの知識を深め、温泉などでゆったり過ごす、豊富な海産物や農産物を味わう。食・観光ともに存分に楽しめます。

このまちの



うに加工品
 地元産の粒うにを使用した濃厚な味わいは、暖かいご飯や酒の肴に評判の逸品。また、うにを練り込み風味を生かした「うに羊羹」も人気です。
 ■問/泊水産加工協議会 0175-77-3121



みなくらの越冬ニンジンジュース
 完熟堆肥で育てたカロテン含有量の多い品種のにんじんの逸品。また、うにを練り込み風味を生かした「うに羊羹」も人気です。
 ■問/泊水産加工協議会 0175-77-3121

ぶらり立ち寄りスポット



スパハウスろっかぽっか
 家族みんなで楽しめる、鷹架地区にある日帰り温泉施設。大浴場のほか、ヒバ風呂、露天風呂などが人気。
 ■営/10:00~21:00
 ■休/毎月最終月曜日(ただし振替あり)
 ■問/0175-69-1126 <http://www.roccapocca.com/>

六趣醸造工房
 六ヶ所産の長手を原料に、宮崎県の伝統ある焼酎造りの技術で造られた本格長いも焼酎「六趣」。工房では、製造工程の見学や試飲ができます。
 ■営/10:00~15:00
 ■休/毎週月曜、毎年8月13日~16日、12月31日~1月3日
 ■問/0175-71-3335 <http://rokushu.com/>



〒039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾敷字野附475
 TEL0175-72-2111 FAX0175-72-2603
<http://www.rokkasho.jp/>

最果ての地。豪快なマグロ漁で賑わう町。

本州最北端に位置する大間町は、目の前に津軽海峡と北海道の雄大な山々が連なり、旅人の心を揺さぶる自然が広がる漁業を中心とした町。晴天の日は、北海道函館市の町並みまで見ることが出来ます。また、伝統の「マグロの一本釣り」で有名で海産物の宝庫。マグロ、イカアワビ、ウニなど高級魚介類の味の良さも格別です。

下北郡 「おおままち」

大間町

Oma Machi



このまちの うまいもん Food



奥戸いもっこ

大間町奥戸地区では、全国的に希少となったばれいしょ品種「三円薯(さんえんいも)」を栽培しています。いもは煮えやすく、茹で上がるとほどよく粉をふき、ホクホクで、口に入れるとサラサラとした食感が特徴です。

大間のマグロ

全国的に名を馳せる「大間のマグロ」は、「黒いダイヤ」とも呼ばれ、最高3億3,360万円の値がついたこともある近海マグロのトップブランド。8月～1月中旬にかけて、津軽海峡では漁師とマグロの真剣勝負が繰り返されます。

ぶらり立ち寄りスポット



大漁祈願祭

天妃様行列
毎年7月、操業の安全と豊漁を祈願して行われ、色とりどりの大漁旗を飾る数十隻の漁船が一斉に繰り出す様子は鮮やかで、漁師町ならではの風景です。

本州最北端の碑(大間崎)

「こゝ本州最北端の地」と刻まれた大間崎にある石碑。目の前に広がる津軽海峡、北海道の山々や街並も望むことができ、撮影ポイントでもあります。

〒039-4601 下北郡大間町大字大間字奥戸下道20番地4
TEL0175-37-2111 FAX0175-37-2478
http://www.town.ooma.lg.jp



東通村

Higashidoori Mura



下北郡

【ひがしどおりむら】

本州最涯の地。

「寒立馬と能舞の里」

津軽海峡と太平洋に面した尻屋崎の草原に周年放牧される「寒立馬」は青森県の天然記念物。寒さや粗食に強く、尻屋の人々と共に200年以上の歴史を歩んできました。春には温かい日差しの中、走り回る仔馬の姿が楽しめます。また、豊富な山海の幸と500年以上も伝承されてきた「能舞」をはじめとする数多くの民俗芸能も魅力です。

このまちの うまいもん Food



東通天然ヒラメ刺身重

青森県の県魚で、東通村が誇る天然ヒラメを使った新・OMOTENASHに当地グルメ。東通村産の食材オールスターズと天然ヒラメのコラボをゆったりお召し上がりください。

■問/0175-27-2111(東通村経営企画課)

東通牛

眼前には津軽海峡。太陽と海風を体いっぱい浴び、下北丘陵の大地で育つ東通牛は産まれも育ちも東通村の黒毛和種。上質な肉質は精肉でも加工品でも絶品の味わい。

■問/0175-28-5203(野牛川レストハウス)

Topics

ぶらり立ち寄りスポット



下北ジオパーク(尻屋崎、北部海岸、猿ヶ森砂丘ジオサイト)

2016年9月に下北5市町村が認定された下北ジオパーク。そのうち3つのジオサイトが東通村にあります。天然ヒラメや地酒「祈水」、民俗芸能「能舞」などが存在する理由は、全て「まさかの大い」にあった!拠点施設では特産品も販売。

■問/0175-27-2111(東通村経営企画課)
■資料展示・拠点施設/0175-28-5203(野牛川レストハウス)
■HP/http://www.shimokita-geopark.com/



尻屋崎(しりやざき)

本州最涯の地、尻屋崎。突端の尻屋崎灯台はレンガ造りとして日本一の高さを誇り、「恋する灯台」や「日本の灯台50選」にも選ばれた、歴史と価値ある灯台。全国16基目の参観灯台として、内部公開も行われています。

■ゲート開放時間/7:00~16:45(4月は8:00~15:45)
■冬期ゲート閉鎖/12月~3月31日まで

〒039-4292 下北郡東通村大字砂子又字沢内5-34
TEL0175-27-2111 FAX0175-27-2130
E-mail soumu@vill.higashidoori.lg.jp http://www.vill.higashidoori.lg.jp

温泉と新鮮な風間浦鮫鱈かざまうらあんこ料理を存分に楽しめるまち

下北半島の海岸線沿いに位置し、津軽海峡をはさんで北海道恵山峠や函館山を望める漁業と観光の村で、鮫鱈の水揚げは、青森県内でもトップクラスを誇ります。冬に行われる「鮫鱈まつり」では、独特の漁法でつり上げられた「風間浦鮫鱈」の絶品料理と良質の硫黄泉で有名な下風呂温泉が楽しめる、冬の旅として大人気です。

下北郡

風間浦村



このまちの

うまいもん!

Food



布海苔そば

村特産の布海苔を練りこんだそばで、ミネラルやヨード分、繊維などが豊富。磯の香りとさわやかな喉越しで、ざる・かけ、とおいしいと評判。



水産加工品

村の目の前に広がる津軽海峡の荒波に育まれた「こんぶ」や「わかめ」「ふのり」など豊富な海藻類を乾燥させたもの。お土産としても人気です。



ぶらり立ち寄りスポット



桑畑温泉 湯ん湯ん♪

津軽海峡を見渡せる高台にあり、露天風呂からは、晴れた日には遠く北海道、大間崎に沈む夕日、夜は漁り火を眺めながらの入浴が楽しめます。



下風呂温泉郷

室町時代から湯治場として知られ、漁り火が見える海辺の硫黄温泉郷として名高い「大湯」「新湯」という、それぞれ効能が違った2つの大衆浴場もおススメ。



〒039-4502 下北郡風間浦村大字湯田町大字大川目28-5
TEL0175-35-2111 FAX0175-35-2403
http://www.kazamaura.jp/

佐井村

下北郡

【さいむら】

見渡す限りの奇岩怪石は、神の技、鬼の手づくり。下北半島をマサカリの形に例えるなら、その西側の刃の部分に当たる村。海岸線には名勝「仏ヶ浦」があり、およそ2kmに渡って広がる奇岩怪石群は、見る人を幻想の世界へと誘ってくれます。厳しい自然に刻まれた白緑色の凝灰岩は仏の姿にも似て、思はず手を合わせたくするような雰囲気漂わせる不思議な世界です。



このまちの

うまいもん!

Food



水産加工品

甘塩うに、鮭とば、とろろ昆布など。厳選されたとりたての新鮮な海の幸の自然の持ち味を生かし、独特の製法と味付けで仕上げました。



ウニ丼

ウニ(キタムラサキウニ)をたっぷり使ったウニ丼。ご飯がまったく見えないほど山盛りのにせられたウニは、新鮮で甘く、トロツとした食感、5月〜8月にしか食べることのできない村自慢の特産品です。

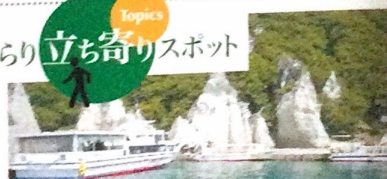


ぶらり立ち寄りスポット



津軽海峡文化館アルサス

佐井港にそびえ立ち、観光船や高速船ポーラスターの発着場のすぐ前にある観光案内所。特産品展示販売コーナーや展望室などが楽しめます。また、フードコーナー「ちょこっと」では、手作り惣菜やお菓子、そのほか軽食を提供しておりますので、休憩・昼食にご利用ください。
■休/年中無休 ■開/0175-38-4513



仏ヶ浦・観光船

国の名勝・天然記念物に指定される仏ヶ浦。高さ90mもある奇岩のスケールは見事なもの。佐井港発と牛滝港発の観光船は、ガイドの案内付きです。



〒039-4711 下北郡佐井村大字佐井字森森20
TEL0175-38-2111 FAX0175-38-2492
E-mail sai_senryaku@vill.sai.jg.jp http://www.vill.sai.jg.jp



南部氏の居城である三戸城が築かれた城下町

青森県の南端に位置し、南は若手県、西は秋田県に隣接。町を流れる馬淵川や熊原川沿いには、縄文時代から古代にかけての遺跡が多く見られ、また、約800年前の鎌倉時代、南部氏が戦功を上げたことで、この地に赴いたといわれています。町内のメインストリートはかつての奥州街道であり、街道沿いに多くの文化財が残っています。

三戸郡 (さんのへまち)

三戸町

Sannohe Machi

このまちの

うまいもん!
Food



三戸せんべい

三戸町で作られる南部せんべいは、他の地域と違ってサクッと軽い口当たりが特徴です。一度食べたらくせになる味と食感は町の名物です。

三戸ひつまみ

野菜と鶏肉のダシがきいた汁に、練った小麦粉を手で引っ張り入れて煮込んだ郷土料理。旬の野菜や川ガニなども加えた豪華版もあります。優しくほっとする味で体を温めてくれます。

ぶらり立ち寄りスポット



三戸城跡「城山公園」

およそ450年前、南部氏の居城を移した場所。現在も石垣や堀跡など当時の面影を残しており、園内には、歴史民俗資料館や三戸城温故館もあります。



道の駅さんのへ

国道4号を北上し、青森県に入って最初の道の駅。三戸名産の果樹加工品や三戸せんべいなどが揃い、隣の産直施設では、ひつまみや串もちなどの郷土料理も味わえます。

■三戸町大字川守田字西張渡39-1
■開/0179-22-0600

F039-0198 三戸郡三戸町大字在府小路町43
TEL0179-20-1111 FAX0179-20-1102

E-mail mail01@town.sannohe.lg.jp http://www.town.sannohe.aomori.jp



歴史とロマンの町を散策、みちのくのくのみ美味に舌鼓

青森県の三戸郡北部の内陸部に位置する、古き歴史が息づくまち。古い松の木や一里塚がそのまま残る奥州街道は、通称古街道「ふるかい」と呼ばれ、文化庁の「歴史の道百選」にも認定。また、高山峠には、明治天皇ご巡幸小休止記念碑もあります。町最大の賑わいを見せる「五戸まつり」は、多くの見物客で賑わいをみせます。

三戸郡 (このへまち)

五戸町

Gonoho Machi

このまちの

うまいもん!
Food



青森シャモロック

塩のばしかりとした歯ごたえと、濃厚なダシを含んだ肉汁が特徴。宮内庁管轄の御料牧場へひなが出荷されている唯一の地鶏です。

馬肉料理

町の郷土料理である馬肉料理。焼肉や刺身、鍋ものなど味わい方もいろいろ。鉄分、グリコゲン、アミノ酸を多く含むため、体にやさしい食材としても人気。馬肉は、桜色をしているため、別名「さくら肉」とも呼ばれます。

ぶらり立ち寄りスポット



ふれあい市このへ(農産物直売所)

地元の方々が心を込めて作った旬の農産物や地元の名産品・手づくり作品など。一年を通してふれあいをモットーに、安全安心にこだわった農産物を提供。

■五戸町大字豊間内字地蔵平1-1059
■休/1月1日~1月3日
■開/0178-62-6962



歴史みらいパーク

図書館には、展望タワーが併設されており、タワーからは町を見渡すことができます。また、敷地内には当時の平面図を基に再現された五戸代官所と門があります。

■五戸町字豊1-1 ■休/毎週月曜日、毎月末日、年末年始 ■開/0178-61-1040



F039-1513 三戸郡五戸町字古館21-1
TEL0178-62-2111 FAX0178-62-6317
E-mail soumu@town.gonoho.aomori.jp http://www.town.gonoho.aomori.jp/

昔ながらの人情と自然の恵みをご堪能あれ！

青森県の最南端にあり、岩手県と秋田県に接する県境のまち。「たっこ」の由来は諸説あり、アイヌ語で「小高い丘」を意味する「タフコフ」から来ているという説が有力。その名のとおり町全体に穏やかな山並みと豊かな自然が広がっています。その自然が作り出す良好な気象条件と清流を活かした農業や畜産が盛んです。

三戸郡 (「たっこ」の郷)

田子町

Takko Machi



このまちの

うまいもん! Food



田子牛

雄大な自然と豊富な湧き水で丁寧に育てられたジューシーで旨みたっぷりのブランド牛です。

たっこにんにく

真っ白でふっくら丸みを帯びた大粒な六片。糖度が高くコクのある安全安心なんにくです。一斉に収穫が始まる6月下旬～7月上旬にかけて町全体を包むにんにくの香りは、田子の人々の自信と誇りです。

ぶらり立ち寄りスポット



「ガーリックセンター」

「たっこにんにく」や「ジャッツ タッコウラ」などの加工品を販売。レストランではご当地グルメ「ガーリックステーキごはん」をはじめとするにんにく料理が味わえます。
■問/0179-32-3165
www.garliccenter.com/



にんにくとべごまつり

毎年秋に行う「たっこにんにく」と「田子牛」を存分に味わえるイベント。目玉は一晚かけて炭火で焼いた田子牛の丸焼き。特産品・農産物市も開かれます。

〒039-0292 三戸郡田子町大字田子字天神堂平81
TEL0179-32-3111 FAX0179-32-4294
http://www.town.takko.lg.jp



四季を通じて、いつでも新鮮な果物を堪能

「果樹の里」「農業観光の町」として知られるまち。自然や文化に触れ、人々との交流を楽しむグリーン・ツーリズムでは、「達者村」と名付けた、地域ぐるみでの交流促進活動を実施し、全国にアピール。地元の豊富な自然や文化などを活かし、自然と親しみながら農業体験を楽しんでいただける様々な体験メニューが揃っています。

三戸郡 (なんぶちょう)

南部町

Nambu Cho



このまちの

うまいもん! Food



達者村認証産品

食べるだけ・飲むだけ・使うだけで達者(健康)になれるような特産加工品や手工産品を達者村特産品として認証しています。

達者定食

郷土料理のせんべい汁と町特産の食用菊を使用したご飯、季節の新鮮野菜でつくった小鉢と漬け物がセットになった、南部町の魅力を存分に味わえる定食です。

ぶらり立ち寄りスポット



名川チェリーセンター

地元で採れた新鮮野菜や四季折々の果物、切り花、漬け物の他、地元のお菓子やジュースなどを販売。夏には、甘みたっぷりのさくらんぼが並びます。

■南部町大字虎渡字西山27-1
■営/9:00~18:30(11月~3月は17:30まで)
■休/12月31日~1月2日
■問/0178-75-0166

なんぶふるさと物産館

地元の有志が育てた農産物や、人気商品の高級洋梨ゼネラル・レクラーク加工品の販売の他、生産者から栽培方法などのアドバイスもいただけます。

■南部町大字相内字辰ノ口2-25 ■営/9:00~18:30(10月~3月は18:00まで) ■休/12月31日~1月3日 ■問/0179-34-3437

〒039-0892 三戸郡南部町大字吉米地字下宿23-1
TEL0178-84-2111 FAX0178-84-4404
http://www.town.aomori-nambu.lg.jp





新郷村

三戸郡

神秘的なようロマンの里
美しい自然に生まれ、歴史とロマンにあふれる村「ゴルゴダの丘で磔刑（たげい）されたキリストが実は密かに日本に渡り、ここ新郷で106歳の天寿を全うし葬られたというキリスト伝説。今やキリストの墓は、パワースポットにもなっています。温泉にも恵まれ、源泉の野沢（のさわ）温泉は「泉質がいい」と温泉愛好家の間では秘湯として知られています。

このまちの

うまいもん!

Food



間木ノ平グリーンパークのミルク&ハム工房では、地元の一酪農家から仕入れた「生乳」を使用し、「飲むヨーグルト」やニンニク入りアイスクリーム「ドラキュラアイス」、生キャラメルを南部せんべいではさんだ「新郷生キャラ餅」などのアイデア商品を数々生み出しています。また、泉農場新郷醸造所では、地元産のながいもと新郷の湧水を使った本格焼酎「青森特産ながいも焼酎 郷の華(さとのはな)」を製造販売しており、地元の方々からも愛されています。

Topics

ぶらり立ち寄りスポット



伝統の湯ノ湯 新郷温泉館
県東地方では数少ない硫黄泉で、効能は神経痛、関節痛、慢性消化器病など。日帰り入浴のほか、宿泊も可能です。

■新郷村大字西郷字温泉95-4
■TEL/0178-78-3050



道の駅しんごう

ここには村の特産品が勢ぞろい。間木ノ平グリーンパークのミルク&ハム工房で製造した乳製品や肉加工製品も購入できます。

■新郷村大字戸栗字雨池11-2
■TEL/0178-78-2511



〒039-1801 三戸郡新郷村大字戸栗字雨池前10
TEL0178-78-2111 FAX0178-78-2118
E-mail: etokiwase@vill.shingo.lg.jp <http://www.vill.shingo.lg.jp>



階上町

三戸郡

そばの花咲く故郷。「階上早生そば」は、癒しの味
青森県の最東南端に位置し、県内で一番早く朝日が昇る「ひかりなす」まち。町のシンボルは、標高739.6mの階上岳と約5.5kmの海岸線。砂浜や岩礁地帯など変化に富んだ海は、海釣りのメッカ。また、別名「臥牛山(がきゅうざん)」と呼ばれるならかな階上岳は、山ツツジの景勝地でもあり、トレッキングやキャンプなど四季を通じて楽しめます。

このまちの

うまいもん!

Food



元祖いちご煮
階上在来系統から厳選された品種で、大正7年に「階上ウニとアビを贅沢に使用した県内を代表する郷土料理。乳白色の潮汁に浮かぶウニが、朝霧に霞む野いちごに似ているとこの名がつけました。

階上早生そば
階上在来系統から厳選された品種で、大正7年に「階上早生」と命名され、その後、青森県奨励品種に採用。粘り強く、コシがあり、風味豊かな味が特徴。町内の観光施設では、そば打ち体験も楽しめます。

Topics

ぶらり立ち寄りスポット



三陸復興国立公園(階上岳・階上海岸)
2013年5月、東日本大震災により被災した三陸地域の復興のシンボルとして指定。階上灯台のある小舟渡海岸は、変化に富んだ景色が楽しめます。

〒039-1201 三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87
TEL0178-88-2111 FAX0178-88-2117

E-mail: hashikami.01@town.hashikami.lg.jp <https://www.town.hashikami.lg.jp>



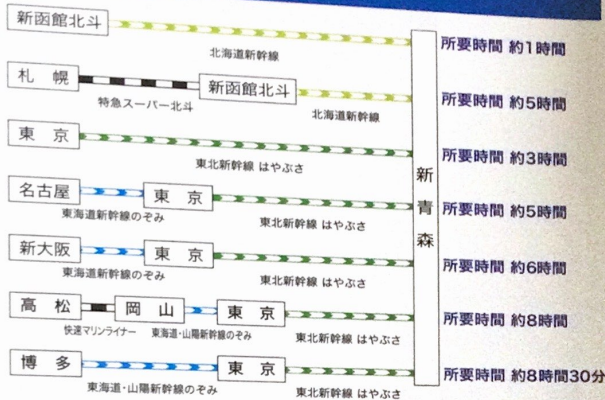
道の駅はしかみ

海と山の新鮮で安心な地元産品が勢揃い。地元のお母さんの実演販売やそば打ちなどが楽しめ、レストランでは、旬の食材の郷土料理が味わえます。

■階上町大字道仏真々3-3
■休/12月31日~1月1日
■営/9:00~18:00 ■TEL/0178-88-1800
<http://www.miclineoki-hashikami.jp/>

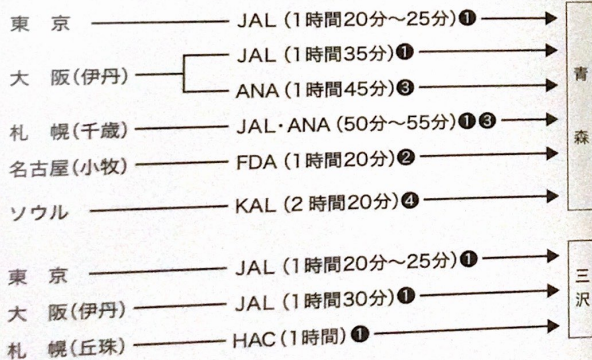


鉄道



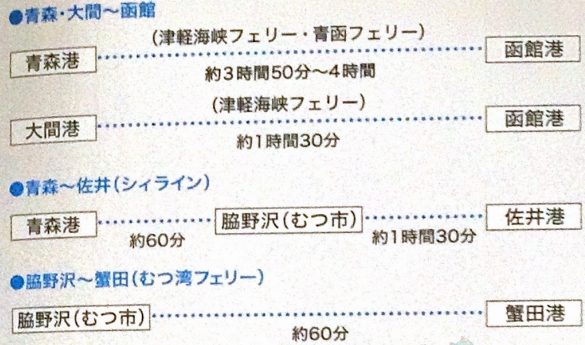
- JR東日本お問い合わせセンター【列車時刻、運賃・料金、空席情報】
(ご案内時間)6:00~24:00 ☎050-2016-1600
※英語・韓国語・中国語でのお問い合わせ ☎050-2016-1603
(JR East Info Line)10:00~18:00(年末年始を除く)
- JR北海道電話案内センター【列車時刻、運賃・料金、空席情報】
(ご案内時間)6:00~22:00 ☎011-222-7111
※ご旅行の際はあらかじめ駅窓口にてお尋ねいただくか、JR時刻表をご確認ください。

航空路



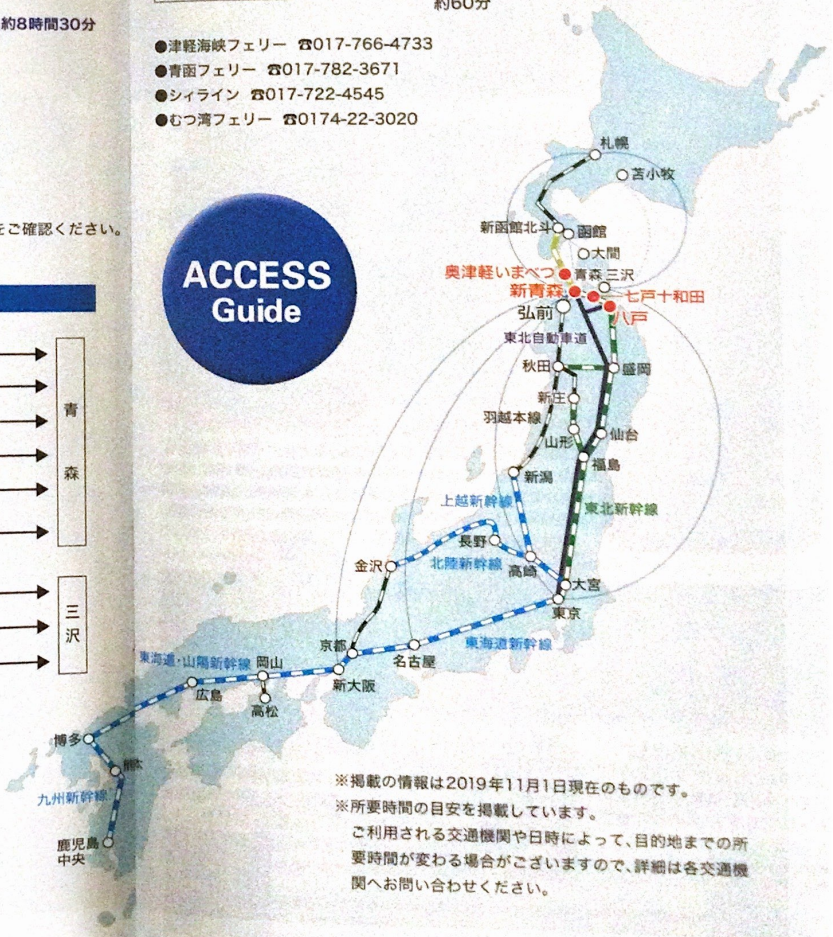
- お問い合わせ
- ① JAL 国内線予約・案内 ☎0570-025-071 ☎03-5460-0522
※三沢⇄札幌(丘珠)は☎0570-025-071
 - ② FDAコールセンター ☎0570-55-0489 ☎054-903-3110
 - ③ ANA 国内線予約・案内センター ☎0570-029-222
 - ④ 大韓航空青森支店 ☎017-732-3313

フェリー



- 津軽海峡フェリー ☎017-766-4733
- 青函フェリー ☎017-782-3671
- シライイン ☎017-722-4545
- むつ湾フェリー ☎0174-22-3020

ACCESS Guide



※掲載の情報は2019年11月1日現在のものです。
※所要時間の目安を掲載しています。
ご利用される交通機関や日時によって、目的地までの所要時間が変わる場合がございますので、詳細は各交通機関へお問い合わせください。

東京—新青森 最短2時間59分 羽田—青森 最短1時間15分

青森の旅の玄関口

青森の新幹線駅

奥津軽いまべつ駅



道の駅いまべつ 半島プラザ「アスクル」

奥津軽いまべつ駅に隣接。今別町の観光情報や特産品も手に入り、食事も楽しめます。

- 営業時間：9:00～19:00(4月～11月)
9:00～18:00(12月～3月)
- 休館日：無休
- 交通：奥津軽いまべつ駅隣接
- 問合せ：0174-31-5200



新青森駅



あおもり旬味館

青森ならではの食やお土産、物産のお店が集まり、四季折々のイベントや市場も開催。青森らしさを満喫できます。

- 営業時間：9:00～21:00
- 休館日：無休
- 交通：新青森駅内
- 問合せ：017-752-6557



青森の空港

青森空港



BLUE SKY

誰でも立ち寄れるロビーショップと飛行機搭乗の方だけが利用できるゲートショップの2店ございます。青森の特産品やお菓子ははじめ、JALカード割引サービスなども自慢です。

- 営業時間：BLUE SKY 出発ロビー店 6:30～20:00
BLUE SKY ゲートショップ 7:00～20:50
- 定休日：無休
- 交通：青森空港内2F
- 問合せ：017-739-9809



七戸十和田駅



しちのへ産直七彩館

道の駅しちのへの北側に隣接する農産物直売施設。直売コーナーの他、そばもちや手打ちそば等、食事ができるコーナーもあります。

- 営業時間：9:00～18:00
- 休館日：3月31日
- 交通：七戸十和田駅より徒歩5分
- 問合せ：0176-62-5777



八戸駅



ユートリー

「八戸地域地場産業振興センター」の愛称であり、研修会議室や宿泊施設の他、祭り山車の展示、地場製品の販売・実演などがあります。

- 営業時間：9:00～19:00 (みやげショップ)
- 休館日：12月31日
- 交通：八戸駅隣接
- 問合せ：八戸地域地場産業振興センター 0178-27-2227



三沢空港



スカイマートビードル

青森の特産品、海産物など豊富に取り揃えています。全国発送も可能ですので、お気軽にご利用ください。

- 営業時間：8:40～19:00
- 定休日：無休
- 交通：三沢空港内2F
- 問合せ：0176-51-1460



青森県町村会

〒030-0801 青森県青森市新町二丁目4番1号 青森県共同ビル2F

TEL.017-723-1331 FAX.017-723-1347

<http://www.aomori-chousonkai.jp/>

表紙写真：(c) TAKAHIRO MIYAMOTO/SEBUN PHOTO/amanaimages

